



わたし、アナタ、min-na

No. 18

# そのすがたがうれしい

## キャリア編 1

令和4年(2022年) 7月20日 市立札幌開成中等教育学校便り  
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1  
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629  
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

## Google Classroom「**■キャリアのしおり**」と「**■キャリア掲示板**」が合併し、「**■キャリア支援部**」になります。

キャリア支援部ではこれまで「**■キャリアのしおり**」、「**■キャリア掲示板**」の二つのGoogle Classroom を運営してきましたが、登録するクラスルームが多くなり、管理が難しくなって来ている現状を踏まえて、2つのClassroomを「**■キャリアのしおり**」側に統一して、新しく「**■キャリア支援部**」という名称で運営していくこととしました。今まで「**■キャリアのしおり**」が担ってきた、通年利用する情報源としての役割は「**■キャリア支援部**」の中の「**授業**」で、「**■キャリア掲示板**」が担ってきた適時的な情報は「**■キャリア支援部**」の中の「**ストリーム**」で、引き続き情報提供していきます。

なお、「**■キャリア掲示板**」は過去の情報を参照するニーズも考えられるため、年度末に削除することとします。

また、Google Classroomの登録者数の限度の問題で、キャリア関係のClassroomの登録は2年生からとしています。1年生が閲覧したい場合は、先生等に相談し、見せてもらってください。

### 「**■キャリア支援部・授業**」の情報とは？

Google Classroom「**■キャリア支援部・授業**」には、本校の6年間のキャリア教育ビジョンや国際交流・留学関係や進学に関わる情報など、生徒の皆さんが通年利用できる様々な情報が掲載されています。ここではその一例として進学に関わる情報の一部を挙げます。他の項目は「**■キャリア支援部・授業**」の「**目次**」を参照してください。

- **4-1 大学入試おおづかみ** : 大学入試の概要を把握できる内容です。ただし、現4年生からは共通テストの科目が変更になるため、注意が必要です。
- **4-3 模擬試験案内** : 本校で受験できる模擬試験の学年別案内です。なお、4年次生の模試は、3年生の希望者も受験可能です。
- **4-4 面接・小論文・志望理由書** : 面接・小論文・志望理由書に関するアドバイスが掲載されています。先生方に練習や添削をお願いに行く前には必ず読んでおきましょう。
- **4-6-1 卒業生入試結果一覧** : 皆さんの先輩が合格した学校が延べ人数で掲載されています。
- **4-6-2 昨年度指定校一覧** : 昨年度、本校に来た指定校の一覧です。しかし、あくまで昨年度の情報なので、6年次生は夏休み明けに発表される、今年度の情報を必ず確認してください。
- **4-6-4 全統模試受験者の大学別合格者平均成績一覧** : 昨年度の大学合格者が高校生だったときに受験した模試で、どの程度の成績だったかを確認できます。
- **4-6-9 国公立大学過去問** : 国公立大学の一般・総合・推薦などの過去問が参照できます。

## 「■キャリア支援部・ストリーム」の情報とは？

Google Classroom「■キャリア支援部・ストリーム」には学校に届く様々な情報を掲載していきます。ここでは「■キャリア掲示板」に掲載されていた記事を例として紹介します。

- **大学説明会・オープンキャンパスの案内** :各大学から送られてくる説明会、オープンキャンパスのお知らせのうち、主なものを掲載しています。すべての大学の情報を掲載しているわけではありませんので、志望大学の情報については3階キャリアセンターの大学別レターケースを確認するとともに、インターネット等で各自情報を集めてください。
- **予備校からの情報** :予備校から提供される情報を掲載しています。例としては6月24日には代々木ゼミナールから提供された旭医大、札医大、室工大、樽商大の推薦者と大学入試共通テストの関係データを掲載しました。
- **学校間連携授業等の案内** :北大高大連携講座、市立大高大連携講座、アニマドール、学社融合講座、学びまくり社、高校生一日医療体験など、魅力的な事業を多数案内しています。

## 「■キャリア支援部」の情報を保護者の方とも共有しましょう

進路探究は保護者の方の協力が不可欠ですので、保護者の方も皆さんが持っている情報を共有する必要があります。これまで培ってきた協働スキル、コミュニケーションスキル、情動スキルを発揮して、Google Classroom「■キャリア支援部」の「授業」「ストリーム」を定期的に見てもらえる機会をつくりましょう。